

OPTIGA™ Trust M : 概要

以下の事にお困りではありませんか？

- IoT機器をクラウドや上位サーバーにどのようにセキュアに相互認証するか？
- 各種電子証明書をどのように安全にIoT機器に保管・管理するか？



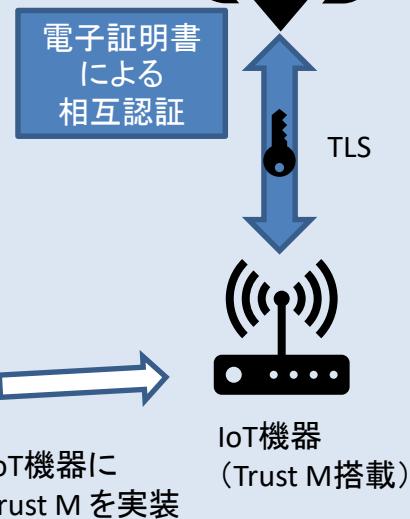
InfineonのOPTIGA™ Trust Mを使う事で解決致します。

- お使いのクラウドサービスに応じた電子証明書を、予め書き込む事が出来ます。
- 耐タンパ性の有るTrust Mに電子証明書を書き込む事で、セキュアにその証明書を保管する事が出来ます。

証明書発行

運用Case例

証明書発行 証明書申請 証明書 書込み



IoT機器に
Trust Mを実装

株式会社 マクニカ

www.macnica.co.jp

〒222-8561 横浜市港北区新横浜1-6-3

本社 : TEL. 045-470-9841

名古屋 : TEL. 052-566-2511

Copyright©2020 MACNICA TecStar Company. All rights reserved.
カタログ内に使用されている会社名、商品名、製品名、ブランド名はそれぞれ各社の登録商標、商標、サービスマークです。
本資料に記載された内容は予告無く変更されることがあります。

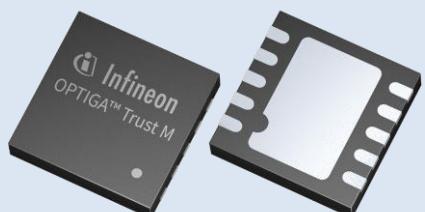
お問合せ先 : IoTsecurity-sales@macnica.co.jp

OPTIGA™ Trust M : 特徴

- 開発環境は容易に入手可能
 - ✓ GitHub上に各種ドキュメント、ホストCPU向け制御プログラムを用意
<https://github.com/Infineon/optiga-trust-m>
- 認証局発行のクライアント証明書、クラウドサービス証明書、自己署名証明書などを、予めChip出荷時に書き込み可能
- AWS パートナーデバイスに認定済
<https://devices.amazonaws.com/search?kw=INFINEON&page=1>
- 低消費電力モードを搭載
 - ✓ Hibernate時 : 0uAを実現

■ 【用途例】パブリッククラウドと連携するIoT機器にご利用頂けます

スマートロック、スマートホーム(照明、エアコン、冷蔵庫、TV)、エレベーター、ネットワークカメラ、警報装置、FA機器、ロボット、デジタルサイネージ機器、ドローン など



動作保証温度範囲	-40°C~105°C	インターフェース	I2C
データストレージ	10kB	パッケージ	U SON-10
暗号アルゴリズム	ECC,RSA,AES,SHA	パッケージサイズ	3mm×3mm